

平成 30 年度 構造解析ワーキング他（報告）

構造解析・石垣合同ワーキング

○平成 30 年 12 月 25 日（火） 12:30～13:30

出席者：和田委員・長谷川委員・西形委員・山尾委員・田中委員・北野委員・宮武委員
文化庁・熊本県・熊本市・土木学会・設計者ほか

○平成 31 年 1 月 29 日（火） 12:45～14:45

出席者：和田委員・長谷川委員・西形委員・山尾委員・田中委員・北野委員・宮武委員
文化庁・熊本県・熊本市・土木学会・設計者ほか

○平成 31 年 3 月 5 日（火） 13:15～14:45

出席者：和田委員・長谷川委員・西形委員・山尾委員・田中委員・北野委員
文化庁・熊本県・熊本市・土木学会・設計者ほか

構造解析ワーキング

○平成 31 年 1 月 29 日（火） 10:30～12:15

出席者：和田委員・長谷川委員・西形委員・山尾委員
文化庁・熊本県・熊本市・土木学会・設計者ほか

○平成 31 年 3 月 5 日（火） 10:45～12:15

出席者：和田委員・長谷川委員・西形委員・山尾委員
文化庁・熊本県・熊本市・土木学会・設計者ほか

【合同ワーキング】

< 1 > 小天守入口復旧方針・・・了承 【資料 2-2】

小天守入口石垣は、昭和・明治に解体された部分に構造補強を行うが、解体修理する江戸時代オリジナルの石垣は構造補強を行わない。また下部の解体しない江戸時代オリジナル石垣は盛土で保護する。

< 2 > 石垣構造検討の方針・・・継続審議

伝統・在来工法の検証と石垣内外からの補強の検証を石垣実験含めた検証方法にて実施することを了承。
具体的な方法については平成 31 年度検討し、実施する。

< 3 > 重要文化財下石垣復旧方針について・・・継続審議

【構造解析ワーキング】

< 1 > 重要文化財建造物下石垣構造検討について・・・継続審議

下記方針を基本に、平成 31 年度石垣復旧設計・検討を実施する（合同ワーキングでも内容報告）

〔平櫓下石垣〕

北面石垣の解体修理は必要

〔監物櫓下石垣〕

構造上の問題はないと想定されるが、部分的な変状があり、当該部分の解体修理は必要

〔南東櫓群下石垣〕

変状もなく構造上も安定していると想定されるため、解体修理の必要なし

< 2 > 飯田丸五階櫓石垣構造検討について・・・継続審議

引き続き補強方法含めた復旧方針を検討する